

# 10th!!THE大学OF富士宮

## ◇平成24年度受講生募集◇

市内の中小企業経営者や市民の方を対象として、本年度も下記のとおり平成24年度『THE大学OF富士宮』を開校いたします。多くの方の受講をお待ちしています。

	日程	会場	講義・講師	内容
第一講 (入学式)	9/25 (火)	富士宮市役所 7階 710会議室	<記念講義> 「言葉の意味をコンピュータで扱うために～意味表現論入門～」  静岡大学 伊藤 幸宏 学長	情報科学の一分野に自然言語処理 (Natural Language Processing) と呼ばれる分野がある。人工知能の一領域として発展してきた分野であるが、コンピュータサイエンスと言語学・認知科学などの境界領域であり、かつ、工学的応用研究も含んでいる。本講演では、「ことば」という対象をコンピュータで処理する際に、「ことばのもつ意味」をどのようにモデル化してとらえるかという問題について述べる。
第二講	10/2 (火)	富士宮市役所 7階 特大会議室	「巨大地震と富士山の噴火」  静岡大学 防災総合センター 副センター長、教育学部 小山 真人 教授	1707年富士山宝永噴火の49日前に、宝永地震というマグニチュード9クラスの巨大地震が発生した。それから300年を超えた昨年3月11日、日本は再びマグニチュード9の地震に襲われ、今世紀半ばには東海、東南海、南海地震の連動も予想されている。こうした状況の中、富士山が噴火する恐れはあるのか、その日に備えて私たちは何をすればよいのか。
第三講	10/9 (火)	富士宮市役所 7階 特大会議室	「日本は幸福な国になれるか～若者の状況を読み解く～」  静岡大学 人文社会科学部 荻野 達史 教授	ブータンが幸福な国として注目を集めているが、人が幸福を感じて生きるには様々な社会的条件が必要だ。近年の研究では、経済社会状況、心身の健康、関係性、そして持続可能性が、幸福度を規定する条件とされる。意識調査によれば、現代日本の若者は身近な関係性から幸福を感じながらも、未来には悲観的である。若者が置かれている社会的状況を読み解き、未来に希望を持てる社会の在り方を問う。
第四講	10/16 (火)	富士宮市役所 7階 710会議室	「明治から太平洋戦争までの教科書を読む」  静岡大学 荒川 章二 情報学部長	明治から太平洋戦争まで、軍部の独走言論統制、アジアに対する侵略。現代からみると常軌を逸したような時代だった。教育の中で私たちはその時代をほとんど教わず卒業していく。なぜ戦争に突入していったのか、ドイツ・イタリアとの比較の中からそのメカニズムを考察する。
第五講	10/23 (火)	富士宮市役所 7階 特大会議室	「ユーロ危機と日本経済：対岸の火事、それとも、明日は我が身？」  静岡大学 人文社会科学部 安藤 研一 教授	ギリシャに始まるユーロ危機は、未だ完全な終息を見ているとは言えない。ユーロ危機の経緯、直接的・構造的な原因、今までにとられたり、提案されている処方箋、そして、その日本経済への影響・意義を考えていく。
第六講 (卒業式)	11/13 (火)	富士宮市役所 7階 710会議室	「母なる太陽」  静岡大学 天岸 祥光 名誉教授 (元学長)	本年5月、金環日食が日本列島で観察された。それにより初めて太陽の大きさを計測することができた。私たちに大いなる恵を与える太陽、その不思議な実像に迫る。富士宮市中小企業大学最終講義は、初回講義の天岸元学長にお願いし、60回、10年の幕を引く。

申込方法等詳細は裏面へ→

時 間	19時00分～21時00分
受講料	5,000円（全6回分） 講義ごとの受講は1講義につき1,000円
定 員	80名（先着順）
申込方法	<p>以下のいずれかに電話にて申込後、受講料を振込み口座にお振込み下さい。  なお、当日のお申込みでも受講いただけます。</p> <p>◎中小企業大学事務局（黒松税理士事務所内） TEL 26-4250 fax 27-9915  ◎富士宮市役所商工振興課 工業振興・労政係 TEL 22-1154 fax 22-1385</p> <p>振込み口座 富士宮信用金庫淀川支店 普通 口座番号 0154514  口座名 富士宮市中小企業大学 事務局 黒松健太郎</p>
主 催	静岡県中小企業家同友会富士宮支部（中小企業大学事務局）・富士宮市環境経済部商工振興課